

令和7年度 野々市市の予算

企画財政課 227・6031

予算の特徴

令和7年度一般会計予算総額は250億6千円となり、前年度から15億1千万円増、率にして6.4%増となりました。これは、2年連続で過去最大を更新する予算規模です。

3つの重点ポイント

まちづくりの最上位計画である市第一次総合計画では、将来都市像を「かがやき無限大 みんなでつくるインパクトシティのいち」と定めています。その実現に向け、3つの重点ポイントを定めて予算を編成しました。

① 安全安心なまちづくりの推進

令和6年能登半島地震や近年の大規模災害を受け、市地域防災計画および各種マニュアルの更新や各自主防災組織の取り組みに対する支援を強化します。また、公共施設の改修や長寿命化を進め、施設機能の向上や防災機能の強化を図ります。

② SDGsの推進

児童・介護分野へのICT導入や広報紙Web版多言語化など、デジタル技術を用いて生活の利便性を向上させる施策を展開するほか、本市の「ゼロカーボンシティ宣言」に基づいた取り組みを推し進めます。
※1 DX：デジタルトランスフォーメーションの略。インターネットなどのデジタル技術を社会全体で浸透・活用させて、ビジネスモデルや人々の生活をより良いものへと変革することやそれに向かう活動のこと。
※2 GX：グリーントランスフォーメーションの略。温室効果ガスを発生させない化石燃料の使用を減らし、環境負荷の少ないエネルギーの活用を進めるための変革やそれに向けた活動のこと。

③ DX^{※1}・GX^{※2}の推進



予算説明会は市公式YouTubeで公開中！

会計別予算

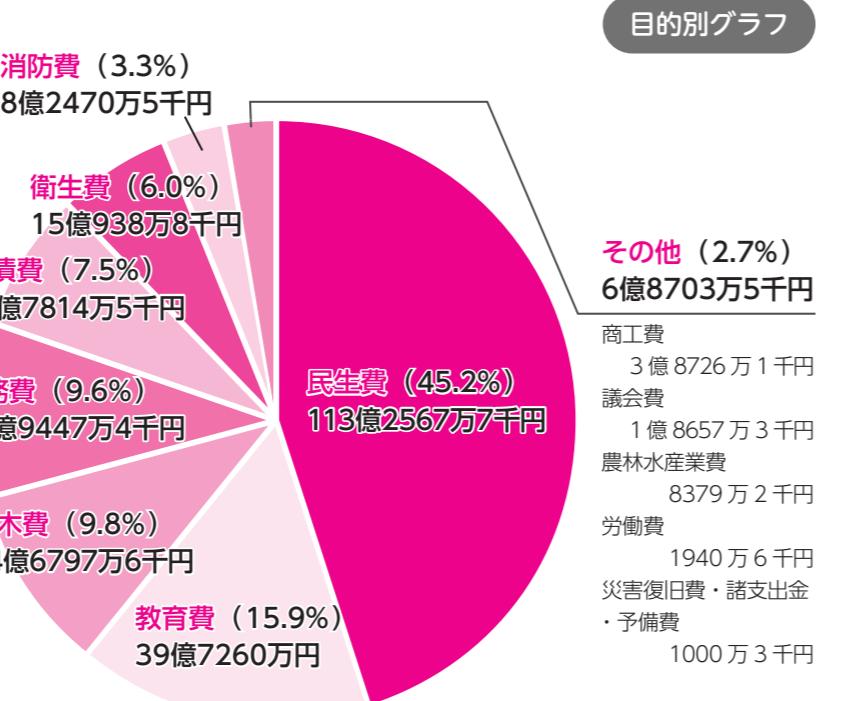
一般会計	250 億 6000 万円
特別会計	
国民健康保険	44 億 4100 万円
後期高齢者医療	7 億 7200 万円
介護保険	31 億 6600 万円
公営企業会計	
水道事業	14 億 9400 万円
公共下水道事業	25 億 7900 万円

用語解説

一般会計
市の基本的な行政サービスを行う会計。

特別会計
特定の目的のための会計。一般会計から切り離して、収入・支出を経理します。

公営企業会計
民間企業のように事業収入で運営する事業の会計。

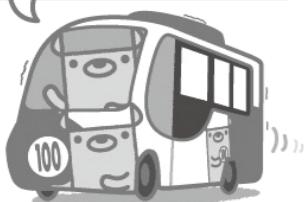


各費用の主な使い道

民生費 生活保護、障害者・高齢者に対する福祉、子育て支援など
教育費 学校運営や生涯学習、文化・スポーツ振興など

土木費 道路や河川、公園の整備・維持など
総務費 行政の一般事務など
公債費 市が借り入れた資金(市債)の返済
衛生費 ごみ処理、環境保全、健康増進など
消防費 消防、防災など

令和7年度の具体的な取り組みは次ページから！



将来都市像

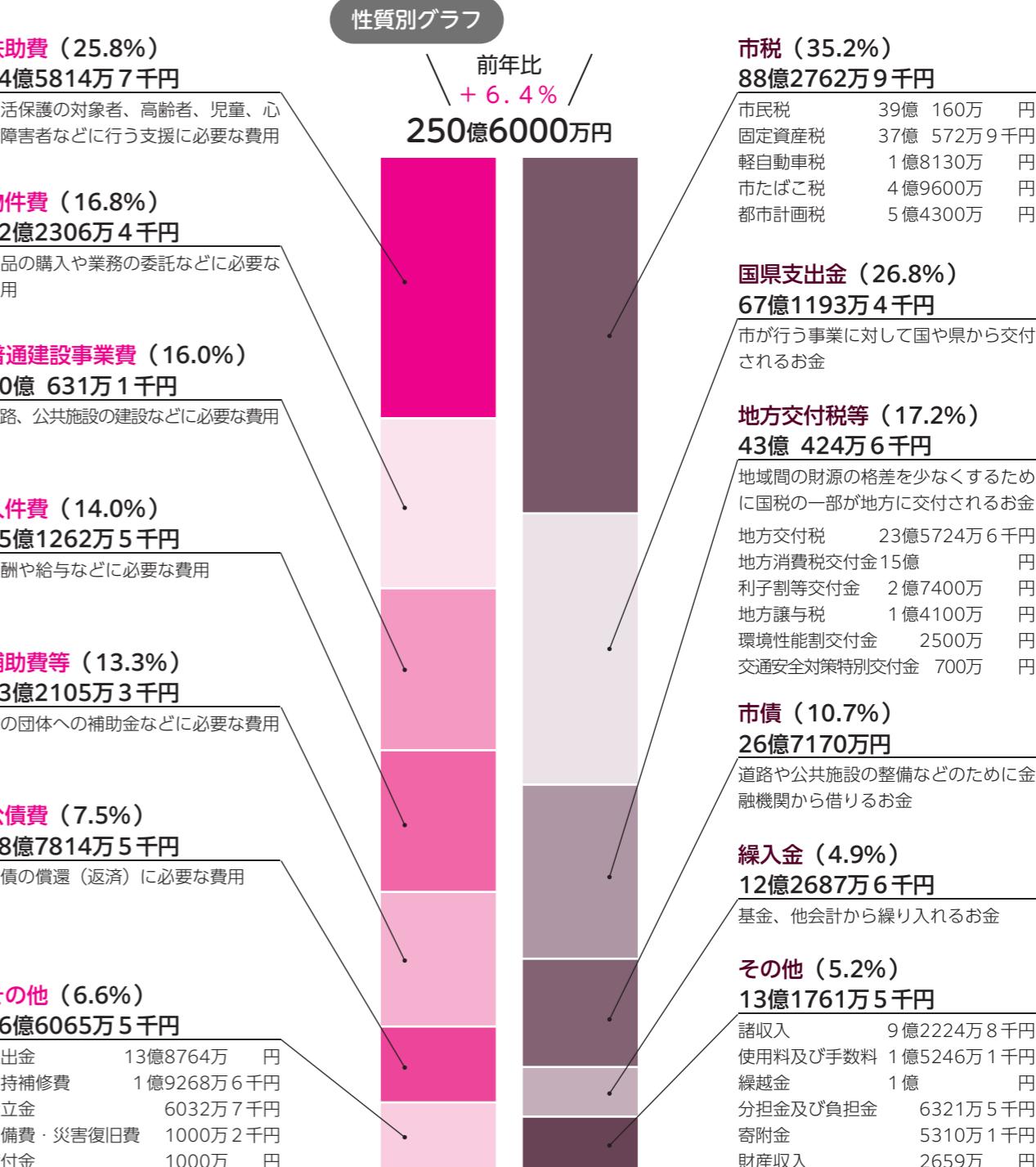
かがやき無限大 みんなでつくる インパクトシティのいち

市民協働のまちづくり

SDGsの推進

「野々市ファン」の拡大

歳出 歳入



重点ポイント 2 SDGs の推進

継 SDGs の推進

予算額
1,027万6千円

SDGs の達成に向けて、経済・社会・環境のそれぞれの分野で事業を展開し、好循環を目指します。

企画財政課 ☎ 227-6028

議会×若者×行政による SDGs の推進

市の SDGs 推進の取り組みに若者の意見を反映するため、子ども若者議会を開催し、より良いまちづくりを目指すための意見を市議会に提言します。



ゲーミフィケーション教材を活用した SDGs 教育の推進

「Beyond SDGs 人生ゲーム」や、令和5年度に開発した「THE SDGs アクションカードゲーム【ののいち版】」を活用し、市内小学校における SDGs 教育の推進を図ります。



重点ポイント 3 DX・GX の推進

新 ケアマネジメント支援 ICT 事業

予算額
1,670万円

要支援認定者の増加に伴うケアマネジメント業務の多忙化に対応するため、ケアマネジメント支援 ICT を導入し、業務の効率化、データ分析に基づく事業評価などを行います。

介護長寿課 ☎ 227-6067

新 広報紙 Web 版 多言語化事業

予算額
52万8千円

「誰一人取り残さない広報」の実現を目指し、スマートフォンなどで広報紙などを多言語で表示・読み上げ・拡大ができるシステムを導入します。

市民協働課 ☎ 227-6056

継 ののいち サステナブル住宅支援事業 ののいち環境きくばり住宅

予算額
405万円

地球環境（温暖化対策や災害対策など）に配慮した新築住宅の普及に向けて、適合証の交付や子育て世帯などへの助成を行います。

建築住宅課 ☎ 227-6087

新 放課後児童クラブ ICT 化 推進補助制度の創設

予算額
800万円

放課後児童クラブ職員の業務負担軽減や利用児童の安全確保を図るため、ICT を活用した入退館管理や保護者への連絡に必要な ICT 機器の導入などに要する費用を補助する制度を創設します。
(1 台あたり 50 万円)

子育て支援課 ☎ 227-6077

継 公共施設の 照明 LED 化の促進

予算額
9,991万7千円

ゼロカーボンシティの実現に向けて、公共施設の LED 化を順次進めます。令和7年度は市役所、保健センター、小学校給食センターなどの工事を行います。

総務課 ☎ 227-6057
教育総務課 ☎ 227-6114 ほか

継 ののいち サステナブル住宅支援事業 ののいち木のぬくもり住宅

予算額
250万円

森林資源の循環利用を促進するため、県産材を利用した住宅を新築（建売含む）または増改築をした人に対して補助します。

土木課 ☎ 227-6081

令和7年度の重点事業（3つのポイント別）

重点ポイント 1 安全安心なまちづくりの推進

施設整備・改修

継 (仮称) 野々市つばきの杜 センター整備事業 予算額 6億2,700万円

老人福祉センター椿荘、中央児童館、旧いきがいセンター矢作を一体的に改修し、高齢者と子育て世帯が交流できるスペースの新設および社会福祉協議会の移設など、複合的に福祉サービスを提供する施設の整備を行います。

介護長寿課 ☎ 227-6062



継 学校体育館、スポーツ施設の空調整備 予算額 5億1,400万円

防災機能の強化や熱中症対策などのため、小中学校体育館やスポーツ施設への空調整備を順次実施します。令和7年度は野々市中学校体育館、市スポーツセンター、武道館の空調工事を行います。

教育総務課 ☎ 227-6114
スポーツ振興課 ☎ 248-1442

継 市立保育園 大規模改修事業 予算額 2億5,710万円

施設の長寿命化と保育環境の改善を図るために、市立保育園を順次改修します。令和7年度は富奥保育園の改修工事と御経塚保育園の実施設計を行います。

子育て支援課 ☎ 227-6076

継 教育センター 大規模改修事業 予算額 2億1,000万円

老朽化した施設や設備の改修、バリアフリー化などの整備のほか、利用者の多様なニーズに合った教育環境や学習環境の整備を行います。

教育総務課 ☎ 227-6114

教育総務課 ☎ 227-6114

その他

新 市地域防災計画などの 更新・拡充 予算額 1,260万円

令和6年能登半島地震や近年の大規模災害を受け、県が新たに示す災害被害想定に基づき市地域防災計画を更新します。そのほか、避難所運営マニュアルなどの各種マニュアルも整備します。

総務課 ☎ 227-6051



継 自主防災組織 支援対象の追加 予算額 200万円

従来の補助制度の対象を広げ、各自主防災組織の取り組みに対する支援を強化します。

総務課 ☎ 227-6051



その他の主な事業

市第二次総合計画に定める基本目標ごとに紹介します。

基本目標 1 だれもがまちづくりの担い手となり、自信をもってアピールできるまち

- 継 防犯灯 LED 化促進のための設置費用補助（市民協働課） 予算額 431万円
町内会が設置する防犯灯の設置費用に対する補助率を引き上げ、防犯灯の LED 化を促進します。

基本目標 2 心のかよう福祉のまち

- 新 こども誰でも通園制度導入（子育て支援課） 予算額 1,119万7千円
全ての子育て家庭に対して、就労要件を問わず時間単位で利用できる通園制度を導入します。（利用上限あり）
- 継 放課後児童クラブの施設整備（子育て支援課） 予算額 2億3,190万円
富陽小学校区の放課後児童クラブ「こうさぎクラブ」の移転・新築工事と「第4すがはらクラブ」の屋根修繕工事を行います。

基本目標 3 みんなで取り組む安全・安心なまち

- 新 感震ブレーカー機器購入費等補助制度の創設（総務課） 予算額 15万円
地震時の電気に起因する火災を抑制する機器の購入と設置に要する費用の一部を補助する制度を創設します。

基本目標 4 環境を考え、みんなで行動するまち

- 新 事業者用太陽光発電設備等導入促進事業（市民生活課） 予算額 2,000万円
太陽光発電や蓄電池設備を設置する事業者向けの補助制度を創設します。※令和10年度までの時限制度

基本目標 5 あらゆる世代が交流しながら、生涯にわたって学び、楽しめるまち

- 拡 教育センター体制強化（教育総務課） 予算額 375万4千円
児童・生徒、保護者、教職員の心のケアとサポート体制を強化するため、教育センターに心理士を配置します。

基本目標 6 みんなが働き気になる、活気のあるまち

- 新 野々市ブランド販路開拓支援（地域振興課） 予算額 120万円
野々市ブランド認定品事業者が意欲的に取り組む販路開拓などの活動を支援します。
- 新 地域文化魅力発信事業（地域振興課） 予算額 400万円
若い世代が市の文化に触れるきっかけとするため「野々市じょんから節」をテーマとしたイベントを行います。

基本目標 7 くらし充実 快適がゆきとどくまち

- 継 野々市中央公園拡張整備事業（都市整備課） 予算額 7億1,140万円
「健康・交流・防災」をテーマとした新たな拠点創出に向けて、用地取得や用水振り替え工事などを行います。

基本目標 8 多くの人に魅力が知られ、安心して長く暮らせる、市民みんなが支えるまち

- 継 地方公共団体情報システム標準化（企画財政課） 予算額 4億1,606万9千円
住民情報システムについて、令和7年度末までに国が示す標準仕様に適合したシステムに移行します。